

定期試験も終わり、大学の夏休みが始まります。高校よりも長い期間が休みに当てられていますから、学生たちの過ごし方も様々で、一年生は大学生になったと実感できる時期の一つではないでしょうか。多くの学生がアルバイトやサークル活動に打ち込むようですが、中には「早く大学が始まらないか、長すぎて暇をもてあます。」という学生もいるようです。大学生活では、自ら選択して決定する自由が与えられているのですが、それをうまく使いこなすことに不自由さを感じてしまうのかもしれない。

暇な時間や何もしないことを恐れて、忙しく用事を作ろうとする学生もいます。「目標や打ち込むことが見つからない。」という訴えを聞くこともあります。自分で考えて選択する、自分で好きなように時間を使う、どれも高校までの生活ではあまり経験しなかったことなので

しよう。

どのように時間を使うかだけで

はありません。自分がどの集団に所属し、どんな居場所を見つけるか、これも高校のように初めからクラスが割り当てられているわけではないので、最初のころは戸惑う学生もいるようです。自分の居場所を作り、したいことや目標を決めることは、広い意味での自分の体験です。将来や進路について考えを廻らせ、いままでの自分を振り返る、そうした自分を模索する時間を大学生活の中で持つことも大切なのではないでしょうか。休みの期間を通して、新たな自分を見つけてほしいと思います。

## 学生相談室

だより 57

カウンセラー・原 信夫

学生相談からのお知らせを一つ。今年度から、学生相談室の隣の部屋に、誰でも自由に使える「フリースペース」という場所を設けました。居場所がなかなか見つからない学生や、一人で過ごす時間を持ちたいと思う学生に、ちょっと立ち寄ってもらえる部屋です。相談室を開けている時間帯に開室

しています。